

普通科

PCD
コース

ポジティブ・キャリアデザイン

向陽高校の
新設学科



向陽高校の普通科（PCDコース）の教育

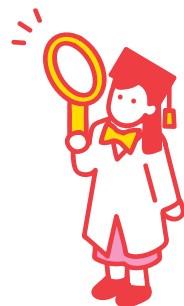
図示化すると次のような感じです。

普通科のイメージ

普通科 = 進学

向陽の普通科

普通科 ≒ 進学



変化のスピードが速く予測困難な現代社会において、大学入試の評価方法が「求められる力」に応じて多面的・総合的な評価へ変わっていく中、「高校段階で本当に必要な普通科の学びとは何か」を真剣に考えました。

その結果として、「進学」を一つの通過点とみなし、高校時代は知識だけでなく、自分を理解し、自分が望む人生を創造できる「心の強さ」と「幸せに生きる力」を身につけることが大事であると考え、他校にはない普通科を新設するに至りました。

学びは一生続くものですが、その中でも高校時代は「自分が何を学びたいか」「自分がやりたい事をどのように実現するか」について、主体的に考える力を育てていく時期だと考えます。本校普通科では、ポジティブ心理学を活用した教育によって、心を成長させる方法や目標を設定し実現するための方法を学ぶ中で、「考える力」を身につけ、より充実した幸せな未来への第一歩を踏み出すことを目指します。

3年間の学びを通して、自分の「心」「頭」「身体」を最大限に活かす方法を学び、自分という唯一無二の味方をつくり、自分が望む人生に向かって、自分にしかできない選択（進学・留学・就職）をして欲しいと願っています。

ポジティブ心理学とは

「人生を価値あるものにするのは何か？」を科学的に追究した学問の1つです。欧米を中心に研究され、世界中の学校だけでなく様々な業界で取り入れられています。

このポジティブ心理学には「Flourish（フラワーリッシュ）」という考え方があり、その人らしい花を咲かせるという意味が込められています。例えるなら、雑草を抜くこと（ネガティブ感情を無くすこと）に集中し、何も無い土壌を作るのではなく、雑草をうまくならしながら（ネガティブ感情ともうまく付き合いながら）、その人らしい花を咲かせていこう（長所や強みをのばしていこう）という考え方です。

ポジティブ心理学を
教育に導入することによって
期待される成果

- ・自己肯定感が高まる
- ・良い人間関係を築ける
- ・レジリエンスが向上する
- ・好奇心、学ぶ意欲が向上する
- ・自分の強みを発見し発揮する

ポジティブ心理学の2つの柱

ポジティブ心理学には「変化やストレスに対する回復力（レジリエンス）」と「幸福や満足度（ウェルビーイング）」という2つの柱があり、相互に影響しあいながら、自分らしく幸せに生きていく力を育てていきます。

resilience レジリエンス
変化やストレスに対する回復力

影響

well-being ウェルビーイング
幸福や満足度

ポジティブ心理学を取り入れた教育

本校普通科では向陽独自の科目に、ポジティブ心理学を専門とする複数の大学教員の協力のもと、科学的に実証されたポジティブ心理学を導入し、全ての教育活動の中でその学びを実践していきます。

それによって、原動力となる「心」を育み、未来に向かって自分の「頭」で考える力を身につけ、望む方向へ行動できる「身体」を育てていきます。